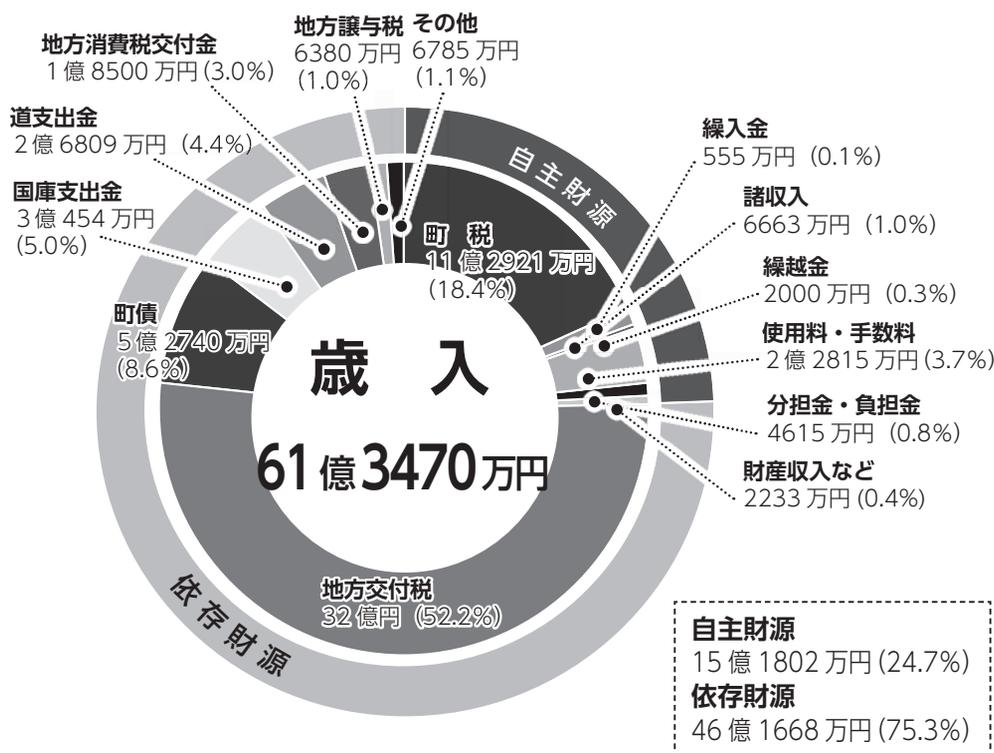


平成30年度

まちの予算

問合せ 税務財政課財政グループ (☎74-30003)



洞 爺湖町議会平成30年3月会議が3月5日から12日まで開催され、平成30年度当初予算が可決されました。

平成30年度の当初予算は、任期満了に伴う町長選挙実施のため、政策的な予算を含まない「骨格予算」として予算編成しました。

経常経費の外、子育て支援、産業振興及び住民サービスなど、継続的な実施が必要なもの計上し、一般会計、5特別会計、水道事業会計を含めた全会計予算総額は、平成29年度と比較し、10億4726万円、9.6%減額となりました。

会計別予算額

会計	予算額	前年度当初比
一般会計	61億3470万円	(7億2449万円減 △10.6%)
特別会計	33億600万円	(3億3466万円減 △9.2%)
国民健康保険	13億4653万円	(2億8834万円減 △17.6%)
公共下水道事業	6億6227万円	(346万円減 △0.5%)
介護保険	10億3961万円	(3396万円減 △3.2%)
簡易水道事業	9851万円	(828万円減 △7.8%)
後期高齢者医療	1億5908万円	(62万円減 △0.4%)
水道事業会計		
収益的収支	3億2855万円	(6065万円減 △15.6%)
資本的収支	1億4454万円	(7254万円増 100.8%)
合計	99億1379万円	(10億4726万円減 △9.6%)

一般会計

一般会計予算額は61億4700万円、対前年度比7億2449万円、10.6%の減額となりました。

主な投資的事業としては、

洞爺保育所建設事業、(仮称)洞爺高校メモリアル公園整備事業、史跡入江・高砂貝塚保存整備事業を計上しました。子育て支援については、保育所保育料の軽減及び幼稚園

用語解説



一般会計

町の会計の中心となるのが一般会計です。行政運営の基本となる経費の全てを計上したもので、町行政の目的を達成するために必要な経費を経理する会計です。行政サービスのほとんどが、一般会計で賄われています。

特別会計

特別会計は、町が特定の事業を行う場合その他特定の収入を特定の支出に充て一般の歳入歳出と区分して経理する必要がある場合など、一般会計と分けて町が条例で設置することができる会計のことを言います。

洞爺湖町には、国民健康保険、公共下水道事業、介護保険、簡易水道事業、後期高齢者医療の5つの特別会計があります。

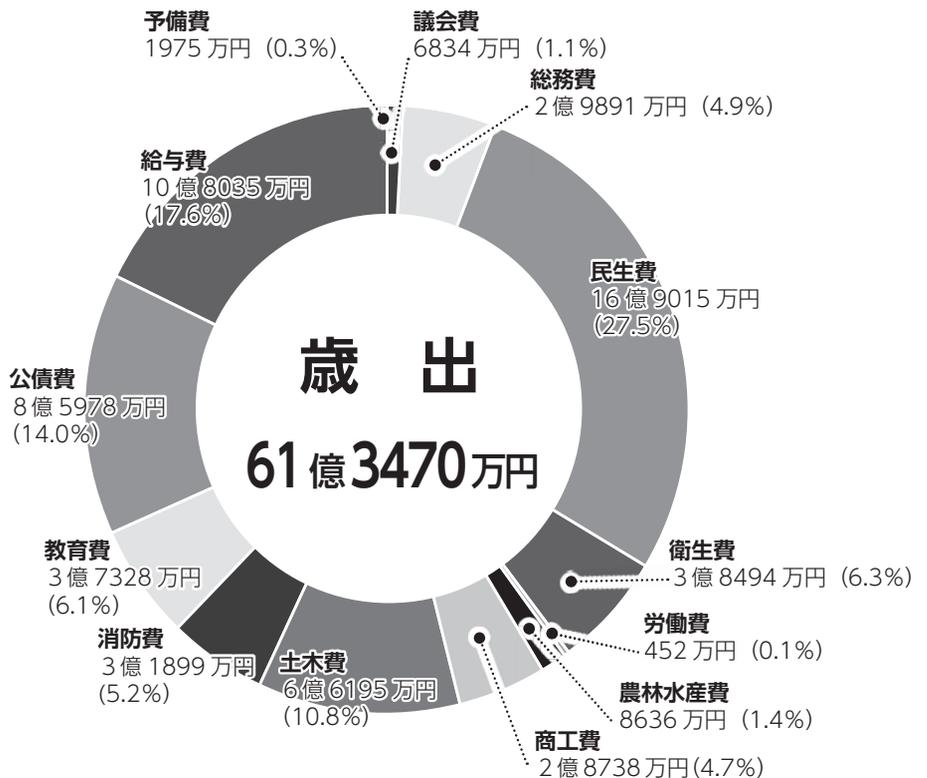
企業会計

企業会計は、独立採算性を原則とする、一般的には、株式会社などの民間企業における会計をいうもので、民間企業に近い事業を行う場合に設置される会計で水道事業会計がこれに該当します。

骨格予算

首長選挙を控えた自治体が最低限必要な経費を盛り込んで編成する予算です。

選挙後の補正予算で、新しい首長の政策的な意向を反映させた事業を肉付けする、いわゆる「肉付け予算」を編成することになります。



特別会計

国民健康保険特別会計は、平成30年度より財政運営が市町村から北海道へ移行することに伴い、対前年度比2億8334万円、17.6%の減額、

利用者に対する利用料の助成、出産祝金、子どもインフルエンザ接種費用助成、中学生までの医療費無料化などを計上しました。
歳入では、町税が町民税を中心に前年度の決算見込みから前年度並みの額で、地方交付税は合併算定替措置の終了に伴い、普通交付税で対前年度比1億3000万円、3.9%の減額を見込みました。

5つの特別会計を合わせた予算総額は33億600万円となり、前年度からみて9.2%の減額となりました。

公共下水道事業特別会計は、公債費支出が減少することから対前年度比346万円、0.5%の減額となります。
また介護保険特別会計は、保険給付費の減少により対前年度比3396万円、3.2%の減額。簡易水道事業特別会計は、配水管移設工事の減少により対前年度比828万円、7.8%の減額、後期高齢者医療特別会計は、ほぼ前年度並みの計上となっていました。

水道事業会計

水道事業会計は、収益的収支が3億2855万円、月浦浄水場膜ろ過装置更新修繕に伴う修繕費の減少により対前年度比6065万円、15.6%の減額となりました。
資本的支出は1億4454万円、月浦浄水場膜ろ過装置更新工事の増加により対前年度比7254万円、100.8%の増額となりました。



平成30年度 主な事業

平成30年度予算に計上した事業の一部を重点政策に分けて紹介します。

子育て支援

- ・地域食堂運営事業……………502万円
- ・乳幼児など医療費助成事業（中学生以下の医療費助成へ無料化）……………1300万円
- ・私立幼稚園利用者負担助成事業……………332万円
- ・出産祝い金……………315万円
- ・子どもインフルエンザワクチン接種助成……………240万円
- ・保育所保育料の減免……………1050万円

地域食堂ほのぼのオープン



子どもインフルエンザ
ワクチン接種



教育環境の充実

- ・小中学校特別支援教育支援員・介護員配置事業……………3739万円
- ・小学校低学年用机・椅子更新事業……………236万円



昨年更新した小学校高学年用机・椅子

産業・観光振興

- ・農業
- ・多面的機能支払事業補助……………2363万円
- ・漁業
- ・虻田漁港整備事業負担金（道負担金）……………233万円

商工

- ・住宅リフォーム支援事業補助……………800万円



住宅リフォーム支援事業の商品券

観光

- ・北海道トライアスロン大会事業……………920万円
- ・洞爺湖マラソン大会事業……………150万円
- ・北海道ツーデーマーチ事業……………300万円

洞爺湖マラソン



消防

- ・消防指揮支援車整備……………351万円
- ・JIALE RT新型受信機更新事業……………281万円



写真はイメージです

消防指揮支援車

その他

・(仮称) 洞爺高校メモリアル公園整備事業……6850万円

・地域公共交通対策事業(買い物支援バス、コミュニティバスなどの運行、生活路線バスの維持)……2691万円

・手話啓発普及活動事業……121万円

・移住・定住促進事業(ちよつと暮らし体験住宅、婚活支援、チャレンジショップ支援)……467万円



(仮称) 洞爺高校メモリアル公園整備予定地

虻田地区コミュニティバス



整備中の高砂貝塚



各種健診

- ・各種健診事業(基本健診、結核・がん、脳ドック、妊産婦・乳幼児健診など経費)……1965万円
- ・ニナルカ橋整備事業負担金(道負担金)……1035万円
- ・洞爺湖有珠山ジオパーク推進事業……622万円
- ・高砂貝塚保存整備事業……3127万円
- ・橋梁長寿命化修繕事業……1134万円
- ・町営住宅管理事業……3007万円

地方債(借金)の残高

	平成28年度	平成29年度(見込)	平成30年度(見込)
一般会計	84億6790万円	87億618万円	84億5386万円
公共下水道事業特別会計	34億1221万円	31億1200万円	28億1719万円
簡易水道事業特別会計	4億7144万円	4億4882万円	4億1911万円
水道事業会計	7億9155万円	8億3925万円	8億8541万円
合計	131億4310万円	131億625万円	125億7557万円

基金(貯金)の残高

	平成28年度	平成29年度(見込)	平成30年度(見込)
財政調整基金	13億3815万円	14億5917万円	12億8022万円
減債基金	1億287万円	1億292万円	1億297万円
特定目的基金	16億4714万円	16億9479万円	16億5935万円
合計	30億8816万円	32億5688万円	30億4254万円